

きぼうへのかけはし

基本理念 希望のある医療

東日本大震災

～災害支援看護師の宮城県石巻市での活動報告～

この度の東日本大震災で被災された皆さまに対し、お悔やみとお見舞いを心より申しあげます。当院では義援金を募集するとともに、関西広域連合の兵庫県医療チーム（医師会・看護協会）の派遣要請をうけ災害支援看護師を派遣いたしましたので、報告させていただきます。

私は、小川優佳理看護師と共に日本医師会災害医療チーム(JMAT:Japan Medical Association Team)に加わり、兵庫県医師会の医師1名・事務職2名とチームを組み、宮城県石巻市に災害支援へ行ってまいりました。派遣期間は6月11日から15日で、発災後ちょうど3カ月たっていました。電気などのライフラインは復旧し、昼間は半袖でも動けば少し汗ばむようになっていましたが、市内中心部の日和山から見る沿岸部の光景は3カ月たっても、信じがたい光景で、街は生臭い鼻をつく臭いも漂っている状態でした。

私たちは仙台から石巻まで車で片道約2時間を毎日往復しながら、石巻中学校を拠点として6か所の避難所を対象に診療（拠点・巡回）支援を行いました。兵庫県医療チームは6月19日に撤収が決まっていたため、慢性疾患の被災者の方々に地域の医療機関を受診していただくよう説明しながらの活動となりました。

避難所ケアでは感染症や食中毒の予防の啓蒙活動などを行い、二人で役割を分担し進めていきました。また、避難所では食生活や生活環境が変わり身体に変調をきたしていることもうかがえ、中でも「被災後に血圧が上昇した」と話される方が多く、避難所生活がもたらす健康上の問題を実感しました。今後も、健康管理やこころのケアなど長期的に継続して支援していくことが必要であることを今回の支援活動を通して感じました。

派遣期間を終えて、気がかりなことを残しながら被災地を後にすることになりましたが、その体験を振り返り、今後の備えにしていこうと思っております。

復興までには、まだまだ遠い道のりであると思われませんが、被災された方々が一日も早く安定した生活へと戻られることを願っております。

看護師 向井 加奈子

～義援金のご協力に感謝申しあげます～

当院では被災された方々を支援するため、義援金の募金箱を会計窓口横に設置しています。平成23年3月14日～7月25日までの当院での募金総額は

502,669円 となっております。

皆さまの温かいご協力ありがとうございます。



お知らせ

1. 外来休診情報について

8月の外来休診情報につきましては、別紙のとおりです。(7月26日現在)

週間外来診療担当医表とあわせてご確認ください。

※医師の都合などにより、急遽変更となる場合がありますので、受診前に必ずご確認ください。

2. セタコンサートを開催しました

7月8日(金)16時より、玄関ホールにて院内コンサートを開催いたしました。

多数の方々にご来場いただき、ありがとうございました。



○出演者

ヴィオラ	後藤名誉院長	フルート	待場看護師
トロンボーン	松井医師	フルート	黒田看護師
ベース	茂山医師	フルート	田原看護師
サクソホン	木村医師	クラリネット	小南看護師
		ピアノ	和田看護師
		ギター	舛田看護師
		ドラム	得田看護師

★ダンス フラシスターズ

○プログラム

1. 見上げてごらん夜の星を
2. 少年時代
3. 故郷
4. 涙そうそう
5. Hukilau Song
6. 月の夜は
7. ルパン三世のテーマ
(5. 6はフラダンス)

～アンコール～

情熱大陸



東日本大震災義援金を募集しております

お伝えしましたとおり、当院では義援金の募金箱を会計窓口横に設置しています。

引き続き皆さまの温かいご協力をお願いいたします。



「きぼうへのかけはし」に関するお問合せは、
地域医療連携室までお願いします。

連絡先 〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33番1号
TEL 079-442-3981(内線5146)
FAX 079-443-1401
ホームページ <http://www.hospital-takasago.jp/>